事業概要【最南端から最先端へ！民間ロケット発射場を核とした地方創生プロジェクト】 旧制度（推進）

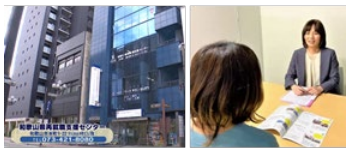
申請者	和歌山県ほか２自治体※	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	578,368千円（99,287千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・宇宙関連産業の集積化に向けてシンポジウムの開催などにより機運醸成を図るとともに、当該地域における従来の主要産業である観光産業と繋げることで、コロナ禍で大打撃を受けた観光産業の復活はもとより、「ロケットの町」として認知度の向上など地域活性化の多様な相乗効果の創出を図る ・宇宙関連企業の協力を得ながら、県内での宇宙教育やプログラミング教育の充実化を図り、高度人材（研究者・技術者）を育成し、中長期的に地域への集積が期待される宇宙関連産業の人材輩出を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ ロケット打上応援イベント等の運営 ・協議会でのイベント運営（委託料）74,871千円 «内訳» 県：37,435千円、那智勝浦町：18,718千円、串本町：18,718千円 ・映像シアター運営費【串本町】（委託料）1,000千円 ○ 高度人材育成のための宇宙教育やプログラミング教育を実施 ・宇宙シンポジウム開催【県】（委託料等）3,529千円 ・児童生徒のイベントの参加促進【県】（役務費等）2,995千円 ・宇宙ワークショップ開催【串本町】（委託料）3,080千円 ・宇宙ワークショップ開催【那智勝浦町】（委託料）2,000千円 ・中高生向け高度プログラミング教育【県】（委託料）5,004千円 ・県立串本古座高校での宇宙教育推進【県】（委託料等）6,808千円	 打上げの瞬間（提供：スペースポート紀伊周辺地域協議会）	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①公式見学場（2箇所）来場者数（＋13,600人） ②観光入込客数（那智勝浦町・串本町・白浜町・田辺市本宮町の合計）（＋136万人） ③県内児童生徒に対する宇宙関連教育実施人数（＋1,700人）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html https://www.town.nachikatsuura.wakayama.jp/Info/1080 https://www.town.kushimoto.wakayama.jp/sangyo/town-planning/sougou-senryaku.html

※和歌山県、那智勝浦町、串本町の広域連携事業

事業概要【大阪・関西万博を見据えた「新たな旅のスタイル」普及・促進】 旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	737,214千円（145,899千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・「デジタル化」や「アウトドア観光」などポストコロナ時代における新しい旅のスタイルを普及・推進を図る。 ・あわせて、2025年に開催される大阪・関西万博を契機とした外国人向けの情報発信及び受入環境整備を進めることで、国内はもちろん海外からの観光客の和歌山県への誘客を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ 大阪・関西万博を見据え「デジタル化」や「アウトドア観光」等による観光誘客や観光消費拡大策を推進 ・「デジタル」を活用した観光周遊施策推進（委託料等）24,000千円 ・アウトドア観光ポータルサイト運用、情報発信等（委託料)19,400千円 ○ 万博を契機とした海外向けプロモーションやインバウンド受入環境整備を実施 ・万博レガシー推進（委託料）19,465千円 ・インバウンドの段階的回復に向けた情報発信および環境整備（委託料等）83,034千円	「デジタル化」や「アウトドア観光」による観光誘致 「和歌山ゾーン（イメージ）」 多言語観光ウェブサイト「VISIT WAKAYAMA」 ガイドツアー	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（＋2,440万人） ②モバイルスタンプラリー利用者数（＋24,357人） ③地域通訳案内士育成人数（＋130人）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【ポストコロナ時代の若者就職支援による県内定着・移住促進】 旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	707,407千円（148,229千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・ポストコロナ時代を見据えたデジタル技術を活用した積極的な就職活動支援による「地方への人の流れ」を加速させることで、新規高卒就職者の県内定着、県外へ進学した大学生や第2新卒者等のUIターン就職による本県への移住の促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○企業ガイダンス等の開催により、県内企業と生徒が直接対話できる場を提供 ・応募前企業ガイダンス（委託料等）15,040千円 ○ 就職希望者が多い県立学校に対し民間企業等勤務経験者を就職指導員として派遣 ・就職指導員派遣（報酬等）56,259千円 ○ アプリを用いた情報発信などUIターン就職を推進するとともに、インターンシップやUターン就職フェアなど切れ目なく就職活動を支援 ・県内企業と連携したUターン就職イベントの開催（委託料）10,270千円 ・ウェブサイト・アプリ「UIわかやま就職ガイド」（委託料）7,522千円 ○ わかやま就職支援センターの設置・運営や官民が一体となったUIターン就職支援を実施 ・わかやま就職支援センター運営（委託料等）28,883千円 ・合同企業説明会及びセミナーの開催（委託料）12,376千円	 応募前企業ガイダンス UIわかやま就職ガイド インターンシップ風景  わかやま就職支援センター	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高校生の県内就職率（+13.4%） ②高卒3年以内の離職率（▲24.0%） ③大学生等のUターン就職者数（＋744人）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

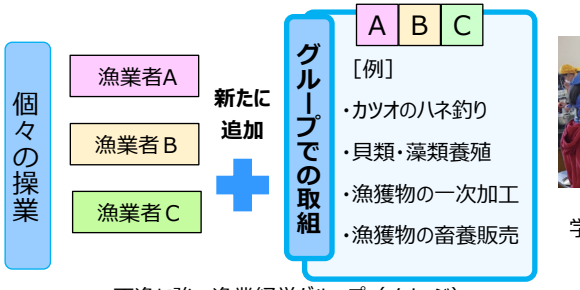
事業概要【和歌山産品デジタル販売力強化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	126,277千円（19,956千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	• 中小企業・小規模事業者や農林漁業者の経営規模が小さいからこそ可能となる戦略的かつ機動的なECへの対応をDXを含めて促進し、産地の稼ぐ力を指数関数的に向上を図る • 関連産業を含めて地域の新規就業者・担い手の確保につなげ、地場産業や農林漁業等をデジタル時代における成長エンジンとして和歌山県経済の発展の加速化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○マーケットインの視点からの商品開発や、ECサイトでの販売促進を支援 ・パーソナルギフト向け商品開発（委託料）8,110千円 ○農林水産品等の情報を集約したポータルサイトを運営し、全国に魅力を発信しバイヤー等とのマッチングを促進 ・ポータルサイト運営（委託料）7,996千円 ・課題別ワークショップ（委託料）3,850千円	 ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地場産業の製造品年間出荷額等（＋59億円） ②EC販売等向け新商品の開発件数（＋30件） ③EC活用を開始或いは改良した事業者数（＋690者） ④セミナー・商談等の年間参加者数（＋460者）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【明日へつなぐ持続可能な農林漁業の実現に向けた好循環創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	237,292千円（34,915千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	• 水産資源の資源量等を管理しつつ魚介類及びジビエの消費拡大を促進することで、地域の「しごと」を確保・創出し地域経済を支えながら、自然変動等の影響を受けづらい経営体質への転換を促し所得の向上を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○ 本県主要魚種たちうお（特に小型魚）の分布等を調査し、地域の漁業者や市町と連携し適切な資源管理を実施 ・資源評価・調査（たちうお）（消耗品費等）1,904千円 ○ 漁業者の収益源の複合化に向け、地域の漁業者グループによる新たな漁業種類の追加や漁獲物を加工する取組を支援 ・不漁に強い漁業経営グループ創出（補助金）17,000千円 ○ 魚介類やジビエの学校給食での提供や、外食産業でのイベント開催など取扱を拡大する取組を実施 ・給食への食材提供・活用促進の実施（消耗品費等）11,545千円 ・外食産業等での魅力発信（委託料等）4,466千円	 本県主要魚種たちうお ジビエを活かしたレシピ くじらの竜田揚げ給食  不漁に強い漁業経営グループ（イメージ） 学校での出前授業風景	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間海面漁業生産額（養殖除く）（＋9億円） ②新たに複合経営に取り組むグループ数（＋10グループ） ③地産地消給食メニューの開発数（＋13メニュー）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【未来を拓く”地域ＧＸ・ＤＸ”の構築～和歌山県のサステナブルな成長実現に向けて～ 】 旧制度（推進）

申請者	和歌山県	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	113,696千円（45,368千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・サステナビリティへの意識を高めつつ、サーキュラーエコノミー型産業の振興を図る ・エネルギーを外部に依存することなく、小水力発電をはじめとする再生可能エネルギー利用促進を図る ・産業・教育・医療・子育て・交通などあらゆる分野において、利便性等を維持・向上させるため、地域におけるＤＸの加速化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○未利用資源活用ビジネスの第1弾として、廃食油の資源化・利活用の実証事業を継続するとともに、第2弾以降のビジネスモデル構築のため、調査・実証を実施 ・サーキュラーエコノミー型ビジネスモデル構築（委託料等）24,464千円 ○ 最新デジタル技術やサービスを活用した地域課題解決等に資する取組を、県内外の企業から公募し、本県をフィールドにした実証事業を実施 ・課題解決型デジタル活用プロジェクト推進（委託料）10,000千円 ○ 市町村等による交通ネットワーク再編等に向けた調査や、実証運行等を支援することで、MaaSの実装など地域公共交通の利便性を向上させる取組を推進 ・持続可能な地域公共交通の構築に向けた専門家派遣・実証運行等の支援（報償費、補助金等）10,904千円	【施策の目的が実現したときのイメージ】 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（＋1,625人） ②製造品出荷額（年間）（＋1,176億円） ③開発・構築することができた事業モデルの数（＋19件） ④参画している事業者数（+58社）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/tihousousei/tihousousei.html

事業概要【熊野白浜リゾート空港を軸とした地域活性化事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>347,252千円
（139,501千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>観光分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">• 熊野白浜リゾート空港の活用を軸として、東京・首都圏でのPRや国際チャーター便の誘致を行い、和歌山県への観光客の増加を目指す。
• 地域の住民や企業にとっても空港が地域の大きな魅力であることを実感してもらう。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【ソフト事業経費】

〇熊野白浜リゾート空港を活用した誘客促進
・東京・首都圏でのPR等（負担金）23,650千円
・国際チャーター便誘致　（負担金）17,000千円

〇空港周辺二次交通の改善
・空港連絡バスの運行　（負担金）　40,351千円

〇住民や企業による空港利用促進
・熊野白浜リゾート空港発の旅行商品造成支援等
（負担金等）9,900千円</td><td colspan="4">
空港で外国人観光客を出迎える県・町・民間事業者</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">航空会社と共同して旅行会社等への働きかけを行い、空港を活用した旅行商品の造成を促進する。
空港運営会社や地元自治体、地元旅行業界と緊密に連携を取りながら、効果的な地域活性化施策となるよう、事業実施にあたっての調整や事業効果の検証を実施する。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①和歌山県南部地域における観光客数（年間）（＋19,500人）
②国際チャーター便数（年間）（+30往復）
③シームレスな空港アクセスの実現（空港連絡バス等の年間利用者数）
（＋10,700人）</td></tr>
</table>

事業概要【世界とつながる次世代を担う和歌山県人創出事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>98,985千円
（57,207千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>地方への人の流れ分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="8">• 在外県人会との交流を通じて若者世代の国際意識を向上させることにより、将来の地方創生の担い手として育成する。
• 和歌山県の魅力を世界に発信し、地域住民にも本県に愛着を感じてもらえるような機会を提供する。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="5">【ソフト事業経費】

〇若者の国際意識の醸成
・「次世代リーダーズの集い」開催経費（委託費等）3,147千円

〇世界への和歌山の魅力発信
・万博を契機としたプロモーション　（委託料）　28,011千円
・ビジネスミッション団の誘致　（委託料等）　5,160千円
・聖地巡礼ロングトレイル等　（委託料等）　20,889千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="5">経済団体と連携して、県へのビジネスミッション団の誘致を行うなど、万博開催を契機とした世界への本県の魅力発信を行う。
地元市町や地域住民と協力して世界遺産の保全活動に取り組み、本県の魅力として次世代につないでいく。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①本県からの転出者数（▲900人）
②本県への転入者数　（＋750人）
③平均宿泊日数（＋0.08泊）</td></tr>
</table>

事業概要【人口減少下における農業の持続性確保プロジェクト】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>174,264千円
（58,088千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>農林水産分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">• 人口減少によって人手不足が深刻となる中において、スマート化をはじめとする経営改善を促すことにより、農業の持続性を確保する。
• 積極的な県産品の販路拡大・プロモーションにより、農業の稼ぐ力を伸ばしていく。</td></tr>
<tr><td>事業概要・主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【ソフト事業経費】

〇畜産業の生産性向上・経営発展
・子牛育成マニュアルの作成、普及（委託料）1,600千円

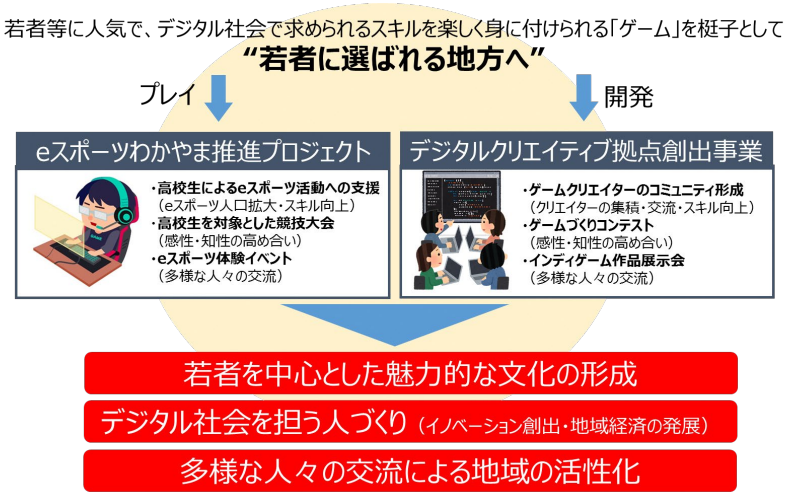
〇県産品の需要拡大
・統一ブランド農産物を主体とするPRイベント
（負担金）3,500千円
・県産和牛PRイベントの開催等（委託料等）22,988千円

〇県産品取り扱い飲食店情報サイトの整備
（委託料）1,000千円
〇施設整備・機器導入等支援　（補助金）29,000千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な主体の参画</td><td colspan="4">農業団体と連携して、県産品の需要拡大に向けたプロモーション活動を実施する。
地元学術関係者や金融機関など様々な視点から事業の効果について意見を聴取し、事業の改善につなげる。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①農業産出額　（＋33億円）
②生産性向上等のための施設整備実施事業者数
（＋39経営体）
③プロモーションイベント販売額（＋3,000千円）</td></tr>
</table>

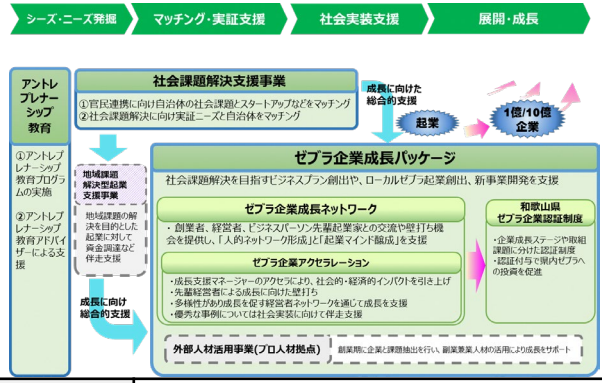
事業概要【 Well-beingに出会える和歌山暮らし・地域交流促進プロジェクト】

申請者	和歌山県						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	102.960千円 （34,320千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	• 地域のキーパーソンと、関係人口になりたい人や他のキーパーソンをつなぐプラットフォームを構築し、キーパーソンによる関係人口創出を後押しする。 • 生活スタイルに合わせた関係人口創出プログラムや外国人テレワーカー等の受け入れ体制の構築により、多種多様な人々が暮らす地域を創る。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 〇地域のキーパーソンの機能強化 ・オンラインプラットフォーム構築（委託料）8,000千円 ・キーパーソン発掘・養成・連携促進（委託料）1,000千円 ・キーパーソンによる地域内外の交流機会の創出 (委託料)6,000千円 〇関係人口創出プログラム、受入体制強化 （委託料）12,000千円 〇オンライン相談体制構築・運用 （使用料及び賃借料）1,320千円 〇外国人テレワーカー等受入体制強化（委託料）6,000千円							
地域の多様な主体の参画	地域のキーパーソン等と連携した関係人口創出に向けたプログラム等を創出するとともに、県内市町村と連携して地元住民の意見を吸い上げ、効果的なプログラムの構築につなげる。 将来の地域を支える世代である大学生等にプログラムに参加してもらい、そこで出た意見を事業の改善につなげる。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住世帯数　（＋3,000世帯） ②キーパーソン登録者数（＋35人） ③こども、教育、親子をターゲットにした関係人口創出プログラム参加者数（＋240人） ④オンライン相談対応件数（＋600件）

事業概要【ゲームを梃子としたデジタルクリエイティブ文化の形成による地域活性化プロジェクト事業】

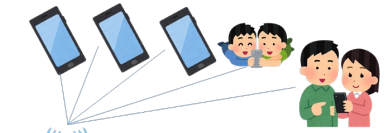
<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>122,536千円
（22,536千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">・若者を惹きつける魅力的な文化を形成し、若者の県内定着と県外からの流入を図る
・デジタル社会を担うスキルを身にこと付けた若者等が集い、創造的な活動の基本となる感性と知性をお互いに高め 合えることができる環境を整備することで、将来的なイノベーションの創出や地域経済の発展につなげる
・性別、年齢、国籍、障害の有無等を問わず、多様な人々が交流できる場を提供し、県民の寛容性を高めるとともに地域の活性化を図る</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="3">【ソフト事業経費】
○eスポーツわかやま推進プロジェクト
・高校生によるeスポーツ活動への支援（アドバイス・サポート）
・高校生を対象としたeスポーツ競技大会の開催
・多様な人々が交流できるeスポーツ体験イベントの開催
事業費（委託料）　12,536千円
○デジタルクリエイティブ拠点創出事業
・ゲームクリエイターが交流できるコミュニティの構築
・ゲームづくりコンテストの開催
・インディゲーム作品展示会の開催
事業費（委託料）　10,000千円</td><td colspan="4"> 
</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="3">地元のeスポーツ推進団体やeスポーツモデル校の高校生や卒業生と協力してeスポーツ競技大会や体験イベントを実施する。
ゲームクリエイターコミュニティーの運営者・参加者とともに、本県におけるデジタルクリエイティブ文化の普及と定着に向けた事業内容の改善や事業効果の最大化に取り組む。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①本県への転入者数　（＋900人）
②本県からの転出者数（▲900人）
③eスポーツ体験イベント参加人数
（＋1,000人）
④ゲームクリエイターコミュニティ参加人数
（＋400人）</td></tr>
</table>

事業概要【新産業創出と人材創出の両立による持続可能な経済エコシステム構築事業】

申請者	和歌山県						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	204,330千円 （63,110千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	• ロケット射場の立地を生かし、県内企業による宇宙産業参入に向けた支援を行う。 • 県内の市町村等が抱える社会課題をビジネスの形で解決する社会課題解決型産業の活性化を目指す。 • 両事業ともに人材育成を兼ねることで、人手不足を克服した持続可能な人材供給システムを備える。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 〇宇宙産業創出支援・人材育成事業 ・ポテンシャル調査・アクションプラン策定（委託料） 9,000千円 ・宇宙産業の創出支援 （委託料） 20,000千円 ・宇宙産業人材の創出支援 （委託料） 5,000千円 ・宇宙産業関連情報の発信 （委託料） 2,700千円 〇社会課題解決型企業（ゼブラ企業）創出・人材育成事業 ・社会課題解決マッチング支援（委託料） 7,000千円 ・ゼブラ企業成長ネットワーク形成 （委託料）13,000千円 ・アントレプレナーシップ育成プログラム （委託料等）6,410千円						 		
地域の多様な主体の参画	地元の大学や高専、高校等と連携して、宇宙産業創出にかかる人材育成プログラムを実施する。 地元経済団体や金融機関と連携して、ゼブラ企業成長ネットワークの事業効果を高めるとともに、県内市町村と連携して社会課題の発見・マッチングに取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 （＋30人） ②プラットフォーム・ネットワークへの参加者数 （100者） ③宇宙産業参入を目指して取組を始めた企業数 （＋10社） ④県内自治体が抱える社会課題とのマッチング （＋12件）

事業概要【デジタルを活用した動物愛護啓発による交流拠点整備事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>24,967千円
（24,967千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td></td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>まちづくり分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">本県における動物愛護の拠点である「動物愛護センター」の整備を行い、動物福祉を考慮した犬猫を「魅せる」施設に改修するとともに、デジタル技術の活用により老若男女問わず楽しめる体験型コンテンツや寛ぎ空間を提供することにより、「ひと」が集まる多世代交流拠点となり、将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくりを行う。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【事業概要】
動物福祉を考慮した犬猫とふれあえる飼育施設に改修し、カメラシステムを活用することで飼育の様子を情報発信していくとともに、デジタルを活用した体験型コンテンツの導入により、犬猫に興味のある方のみならず、興味のない方、興味はあっても恐怖心がある、アレルギーがあって犬猫にふれることができない方でも犬猫とのふれあい疑似体験ができ、老若男女問わず楽しみながら動物愛護を学べる、かつ寛げる空間を提供する。
【拠点整備事業経費】
〇飼育施設の整備
・犬舎改修費用：9,471千円
・ふれあいルーム設置費用：2,967千円
〇デジタル関連設備の整備
・カメラシステム、体験型デジタルコンテンツ整備費：12,529千円</td><td colspan="3">
タッチパネル

インタラクティブシステム
カメラシステムによる情報発信
 

ふれあいルーム
※イメージ</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">動物愛護ボランティアや地元自治体と協力してイベント等を開催し、本事業で整備した施設がより多くの人に利用してもらうための機会を創出する。
地元のメディアと協力して、施設や事業について情報発信を行い、より多くの人に認知してもらうように取り組む。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①地域の定住人口の減少抑制数（＋1,838人）
②来館者数（＋75千人）
③デジタルコンテンツの利用者数（＋19.2千人）
④デジタル配信の視聴回数（＋９万回）</td></tr>
</table>

事業概要【和歌山の魅力資源を活用したインバウンド推進事業】

旧制度（推進）

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	244,696千円（88,218千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	地域特有の資源を活用したコンテンツの創出・誘客の促進により、市内全体の周遊につなげ国内外からの誘客をはかるとともに、県内の中でも「観光地として選ばれるまち」を目指し、多世代交流、滞在時間延長と消費を促す仕組みを構築し、交流人口と市内消費の増加を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①自然・歴史・文化等の磨き上げによる集客の促進 ・日本遺産に認定された「絶景の宝庫　和歌の浦」の知名度を向上させ誘客に繋げる施策として、地元にてイベントの開催や参加型のワークショップや専門家による狂言や能の操演等を行う。また、同じく日本遺産に認定された「葛城修験」等をテーマにした特別展示を市立博物館にて実施するとともに、葛城修験を目的に訪れる観光客に向けた案内看板等の設置を行う。：12,710千円 ②大阪・関西万博を契機としたインバウンド等の回復 ・大型外国船の入港に合わせて、入港のセレモニーやイベント開催などおもてなしを行う、また、地元和歌山市の名産品の販売・観光案内・飲食ブースの出店とPRを行う。：7,511千円 ・近隣国で訪日外客数の実績からもっとも効果的にPRを行うことができる台湾や姉妹都市等へ向け、和歌山市産物品や観光等のパンフレットの設置、ニーズに合った記事掲載や広告掲載、SNS情報発信などを行う。：17,285千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・観光入込客数（＋90,000人） ②・・・外国人宿泊者数（＋5,229人） ③・・・友ヶ島入島者数（＋10,360人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html （効果検証） https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

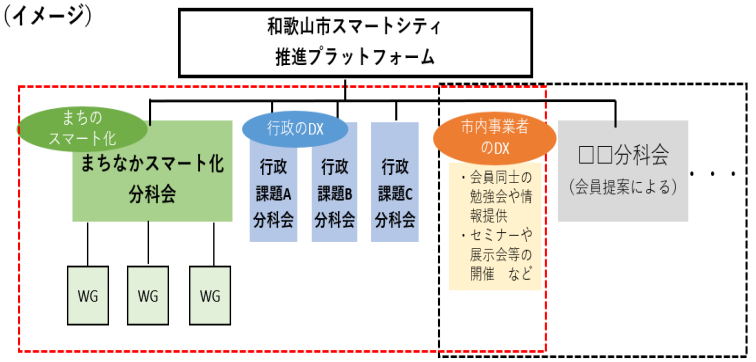
事業概要【地域の魅力を活かしたサスティナブルな移住定住促進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	175,892千円（57,437千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	市内の人口減少に歯止めをかけるため、移住支援体制の強化や、安心して就労でき、暮らすことのできる環境の整備、また、本市の「海」や「和歌山城」といった重要な地域資源を今後も活かしていくことで、人の流れを生み出し、誰もが住みやすく、住み続けたい、働きたいと思える持続可能な地域づくりの実現を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①移住希望者とのマッチングの強化 ・シティプロモーション事業：12,001千円 ②将来的な移住・定住を見据えた働き手・担い手の確保と育成 ・就職応援事業：10,207千円 ③居心地の良いまちづくり ・コミュニティバス運行検討事業：10,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・移住者数（＋30人） ②・・・移住関連事業活用者数（＋15人） ③・・・就職イベントの市外(県外)からの参加者数（＋200人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html （効果検証） https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

事業概要【スマートシティの推進による持続的なまちづくり】

旧制度（推進）

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	145,640千円（55,450千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・本市におけるスマートシティ実現に向けた取組を推進し、本市が住みたい・働きたいまちとして選ばれ、持続的に成長できるまちを目指す。 ・地域課題や行政課題の解決に繋がる市内DX等を推進するとともに、第一段階としてまずは稼げるまちづくりを形成する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①スマートシティの実現に向けた市内DXの推進 ・１年目に明確化した課題に対する実証実験等に係る経費：5,595千円 ・市内事業者デジタル化推進事業：4,043千円 ②大阪・関西万博を見据えた新たな地場産品のセールス ・販路開拓支援事業：11,400千円 ・姉妹都市等へ向けた販路拡大支援：7,042千円	（イメージ）  	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品出荷額（＋4億5千万円） ②設備投資等に取り組んだ結果、売上が向上した企業数（＋30件） ③本事業を通じデジタル化に取り組んだ企業数（＋24件） ④新たに商談成立した企業数（＋6件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html （効果検証） https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html

事業概要【若者世代を中心としたまちづくりによる次世代人材育成プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	261,805千円（79,215千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	若者世代が和歌山市で学び、和歌山市で働くことが叶い、夢や希望を持ちながら潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成するとともに、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進することで、急激な人口減少に歯止めをかけ、持続可能で未来に希望の持てる和歌山市の実現を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①若者と地域をつなぐまちづくり体制の構築と活動の推進 ・まちづくりについての勉強会等を行い、自主的な活動を支援するための経費（委託料）：2,465千円 ②空き家・空き店舗など地域資源を活用した担い手不足の解消 ・新たな試みをする商業関連の１年目と異なる新たな事業者を支援する経費（補助金）：4,000千円 ・空き店舗等を活用したイベントを実施する経費（委託料）：3,000千円 ・空き家・空き店舗が増加する地域におけるビジョン策定に要する経費（委託料）：20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①和歌山市の人口（国勢調査基準人口）（▲8,700人） ②２０代の転入超過数（＋105人） ③事業で活用した空き物件での新規開業店舗数（＋6店舗） ④新規市民公益活動登録者数（＋2,100人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html （効果検証） 調整中

事業概要【大阪・関西万博を契機としたわかやまし観光拡大プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	和歌山県和歌山市	初回採択回	令和６年度第１回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	382,420千円（109,823千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	関西国際空港からのアクセスの良さ等の地理的利点を生かし、外国人が旅ナカだけでなく旅マエから本市の見どころを認識できるような情報発信や、外国人観光客のスムーズな受け入れのための体制づくり等を通して、大阪・関西万博を契機とした外国人観光客の増加に努めるとともに、外国人観光客の周遊を促進し、滞在時間・消費額の増加を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	①インバウンド獲得に向けたプロモーション ・デジタル技術等を活用した魅力発信（事業補助金、負担金、委託料）22,327千円 ・パンフレット及びポスター制作（印刷製本費、委託料）11,550千円 ②核となるコンテンツの磨き上げと回遊性向上に向けたしくみづくり ・和歌山市ならではの体験事業（補助金、報償費、委託料）55,835千円 ・観光案内サービス展開や情報収集・分析、市内周遊を促す空間づくり（負担金、委託料）20,111千円	 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（＋12億6936万9千円） ②外国人宿泊客数（＋5,229人） ③多言語対応ウェブサイト閲覧数（＋36,000pv） ④和歌山城天守閣入場者数（＋47,103人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） http://www.city.wakayama.wakayama.jp/shisei/1009206/1002797.html （効果検証） 調整中

事業概要【和歌山市の未来をつなぐ持続可能な農業振興プロジェクト】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県和歌山市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>83,222千円（20,894千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>農林水産分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">農業の魅力発信や新規就農につながるような仕組みづくりを進めるとともに、農産物の6次産業化等を推進することにより担い手の維持・確保を図り、持続可能な農業の実現を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="3">【ソフト事業経費】
①担い手の育成とスマート農業の普及促進
・SNS等の運用にかかる経費（委託料）：924千円
・農作業の省力化や自動化に資する設備の導入等に対する補助金：4,990千円
②農産品の高付加価値化・ブランド化
・地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事等に対する補助（補助金）：3,000千円</td><td colspan="4"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="3">和歌山市外部評価委員会において、事業執行状況についての点検及び評価について調査審議し、事業者や学識者、労働者や士業者それぞれの観点から改善点等の提案を行う。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①農業産出額（市町村別農業産出額）（＋5億1千万円）
②新規就農者数（＋60人）
③本事業を通じ農業の省力化・スマート化に係る設備を導入した件数（＋12件）
④本事業を通じた６次産業化の取り組み練習（＋12件）</td></tr>
</table>

事業概要【文化ツーリズムによる国内観光客推進プロジェクト】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県和歌山市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7-R9年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>452,576千円
（173,852千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td>✓</td><td>拠点整備事業</td><td></td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>観光分野</td></tr>
<tr><td>目的・効果</td><td colspan="7">誘客に向けた文化資源・文化施設の活用の気運が高まる中、魅力ある文化の創造及び発展並びに地域の個性を生かした文化振興に市民及び民間等と協働しながら取り組み、魅力的な本市の文化資源・文化施設を未来へ引き継ぐことで更なる醸成を図るとともに、観光誘客による経済効果を生み出すことを目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費
※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">【ソフト事業経費】
①文化的魅力を生かした、来訪者による経済活動を促す事業の実施
・夜間の集客力強化に係る経費（委託料）：21,250千円
・和歌山城のおもてなし力強化に係る経費（交付金、委託料、手数料）：11,293千円
②観光誘客に向けた若者の文化活動への参画の推進
・地域に賑わいを生み出すイベントの実施に係る経費（負担金）：23,810千円
・若者の文化活動参加を促す仕組みづくりに係る経費（委託料、補助金）：72,774千円</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">和歌山市外部評価委員会において、事業執行状況についての点検及び評価について調査審議し、事業者や学識者、労働者や士業者それぞれの観点から改善点等の提案を行う。</td><td>KPI
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="2">①観光消費額　（＋66億88百万円）
②年間宿泊客数（＋13万1千人泊）
③和歌山城天守閣入場者数（＋35,859人）
④日頃から芸術・文化活動を行い、又は鑑賞する機会を持っている市民の割合（＋0%）</td></tr>
</table>

事業概要【市民に好かれ市外の人に選ばれる便利な田舎「橋本市」推進事業】

申請者	和歌山県橋本市						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	793,371千円 （230,180千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	市内外へ本市の魅力について情報発信を強化促進し、住民には好かれ、外部の人には選ばれる田舎暮らしを可能とするため、移住定住施策や地場産業の磨き上げとその発信などをソフト、拠点整備事業を織り交ぜて地域活性化を図り、人口減少の加速を緩やかにしていくことで持続可能な地域づくりを目指す。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 〇産業魅力発信事業　173,200千円 ・新たな地場産品の創出と販路開拓などを事業者が主体で推進していける環境を整えていくことで、地域経済の活性化と市民が市外の方に誇れるものを知り、広めていくサイクルを作り出す費用。 〇田舎暮らし魅力発信事業　39,600千円 ・SNS、HPの活用を見直し、外部委託を行って新たな情報発信やコンテンツを作成することで、施策や資源など市の魅力を多くの方に知ってもらい、転入数増や転出抑制につなげる。 【拠点整備事業経費】 〇紀望の里ウッドパーク整備事業 ・施設整備　17,380千円							
地域の多様な主体の参画	商工会等の組合、DMOには、各企業への商品の現状調査、ヒアリング、ユーザー、非ユーザーとの意見交換などを実施する際の仲介役や地域の魅力発信者を担ってもらう。大学や民間企業からも他市事例のアドバイスや地方創生への取り組みなどの状況に関する情報提供をいただき、その上で自治会・地区協議会とも連携し、効果検証について住民・利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の社会動態推移（超過80人抑制） ②移住相談件数（＋315件） ③新商品開発件数（＋21個） ④紀望の里ウッドパークにおけるイベント開催日数（＋24日） ⑤紀望の里ウッドパークにおける市主催イベント時の農産物販売額（＋30万円））

事業概要【体験交流型観光を基軸とした御坊日高広域まちづくりプロジェクト～人こそが地域を創る～】

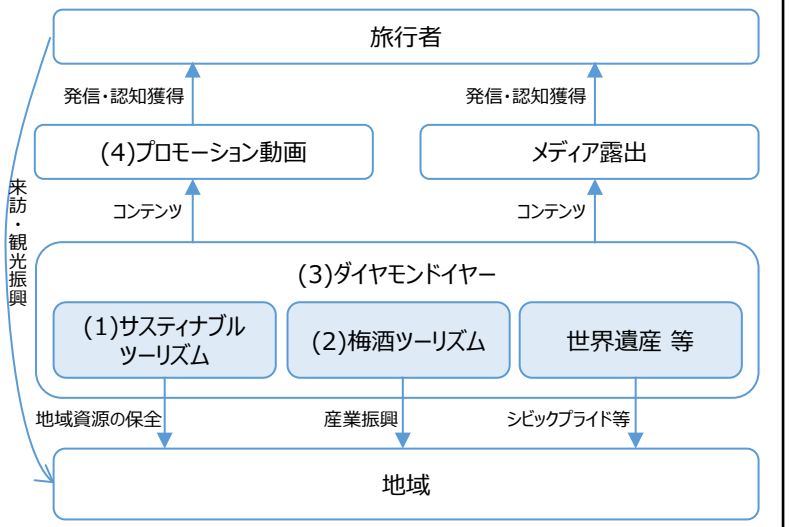
旧制度（推進）

申請者	和歌山県御坊市ほか６自治体※	初回採択回	令和３年度第１回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	35,470千円（3,114千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	観光分野
目的・効果	当地方に従来からある自然資源、歴史文化等の可能性を最大限に活かす取組により、稼げる魅力的な産業と雇用を生み出し、地方でも一人ひとりの夢や希望の実現を後押しできる地域社会を創り、次代に継承していく。具体的には、地域一体となって体験交流型観光を推進し、交流人口、関係人口及び移住人口の拡大による地域の活性化を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 観光振興を基軸にした協働によるまちづくりを進めるため、１市６町の広域連携及び官民協働による地域内外の人をつなぐ新たな組織を設立し、体験交流型観光の推進体制を整備し、教育旅行を中心にした団体の体験交流型旅行の受入等を行う。これにより、交流人口及び関係人口を拡大させ、観光事業者等の売上増加や一次産業従事者の所得向上につながる経済波及効果並びに地域コミュニティの維持・強化、人材育成、地域住民の地域への愛着と誇りの醸成等といった社会的効果を生むものとする。 【主な経費】 〇ワンストップ窓口化構築、組織運営事業 ワンストップ組織運営にかかる費用　2,859千円 〇プロモーション事業 旅行会社や学校への営業活動等費用　255千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①御坊日高広域のワンストップ組織の年間売上額 （＋38,477,000円） ②教育旅行受入人数（＋3,532人） ③民泊受入家庭数（＋90軒） ④御坊日高広域のワンストップ組織会員内の移住者人数 （＋16人）	関連URL	https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130500/chiikisinnkoubu/d00210442.html

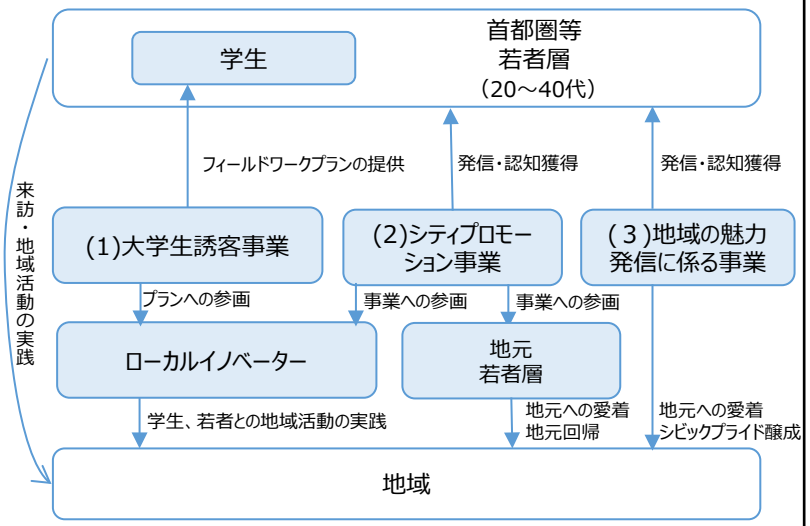
※御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町の広域連携事業

事業概要【観光を軸とした持続可能な地域づくり推進事業】

旧制度（推進）

申請者	和歌山県田辺市	初回採択回	令和５年度第１回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	76,631千円（20,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	• 世界遺産を核とした観光振興及び多様なツーリズムを加速させながら、それと連動して、本市の主要産業であり地域景観を形成する農業と林業に係る保全と活用を両立する観光コンテンツを造成する。 • 観光を軸とした産業振興、景観保全を図るとともに、シビックプライド醸成、移住定住、雇用創出の循環を生み、持続可能な地域づくりにつなげる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 植林や育林事業に係る森林体験コンテンツを開発し、観光客による森林保全を推進するとともに、国内外で人気の高い梅酒をテーマとしたツーリズムを造成し、耕作放棄地を活用した空間づくりや体験コンテンツ化を行い、国内外からの誘客及び外貨獲得を図る。また、ショートムービーの制作配信により各事業のプロモーション力を高め、ダイヤモンドイヤーを活かした本市の認知度向上と誘客促進に積極的に取り組むことで、本事業の将来的な自立を目指す。 【主な経費】 (1)サスティナブルツーリズム推進事業 5,000千円（委託料） ①森林体験コンテンツの開発及び販売　②人材育成 (2)梅酒ツーリズム推進事業 15,000千円（実行委員会負担金） ①梅酒を活用した周遊促進　②梅酒を核とした情報発信 ③イベントの実施		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（＋2,100,000人） ②森林体験コンテンツの販売数（＋50人） ③梅酒ツーリズム商品の販売数（＋250人） ④耕作放棄地・植栽放棄地の活用件数（＋13件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.tb-kumano.jp/umeshu-tourism/index/ （効果検証） https://www.city.tanabe.lg.jp/kikaku/chihososei/index.html

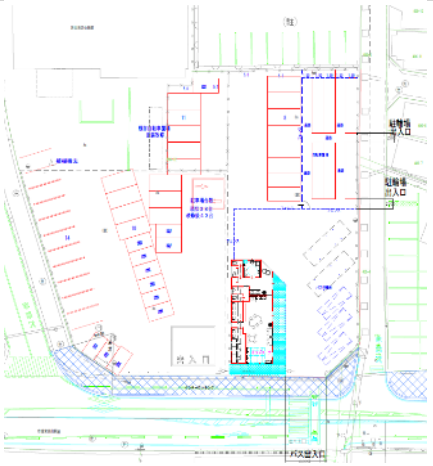
事業概要【地域の魅力発信から未来へつなげる若者交流創出プロジェクト】

申請者	和歌山県田辺市						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	56,600千円（36,600千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	• 市民と大学生が交流できる機会を創出し、関係人口の創出・拡大につなげるとともに、地域活動の実践者の増加を図る。 • ヒト・コトにフォーカスしたプロモーションにより関係人口の拡大・創出・深化を図りつつ、市内の高校生などの若年層も関わることで相互の地域理解を深め、市内若年層の地元回帰向上も図る。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 大学生誘客事業として、ステークホルダーと連携し、地域特性を生かしたフィールドワークプランを開発・PRすることで、大学側の本市に対する関心を高め、関係人口の創出・拡大につなげる。また、シティプロモーション事業として、首都圏・近畿圏在住者や本市にゆかりのある若者層等を対象とした関係人口創出講座を実施するとともに、メディアとも協働を図り、より広く本市の魅力の情報発信を行う。 【ソフト事業経費】 ・大学生誘致促進事業　プラン作成、PR活動、プラン参加者へのサポートに係る経費（委託料）7,000千円 ・シティプロモーション事業 講座の実施に係る経費（委託料）4,800千円 メディアを活用した情報発信・PRに係る経費 （役務費）21,500千円　（委託料）3,300千円							
地域の多様な主体の参画	大学生誘客事業では、大学と共同でフィールドワークプランを開発し、地域商社・DMO、地元企業、地域住民が連携して受入れに関する調整を行い、大学・地域住民がともに課題解決等に取り組む。シティプロモーション事業では、講座の参加者に対し、地域商社・DMO、地元企業は地域の産業、現状を伝えながら必要に応じ伴走し、政策金融機関は助言を行う。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本市への転出超過数（−146人） ②本事業で開発したフィールドワークプランを通じ、地域、事業者と関わった人数　（+120人） ③本市が行う関係人口の施策を通じての地域活動の実践者（+270人）

事業概要【岩出駅前活性化事業】

<table>
<tr><td>申請者</td><td colspan="6">和歌山県岩出市</td><td>初回採択回</td><td>令和７年度第１回募集</td></tr>
<tr><td>事業計画期間</td><td colspan="6">R7年度</td><td>期間中の総事業費
（カッコ内はR7年度事業費）</td><td>101,328千円
（101,328千円）</td></tr>
<tr><td>経費の類型</td><td>ソフト事業</td><td></td><td>拠点整備事業</td><td>✓</td><td>インフラ整備事業</td><td></td><td>事業分野</td><td>観光分野</td></tr>
<tr><td>目的（効果）</td><td colspan="8">• 岩出駅前に観光案内所兼バス発着所を整備し、岩出駅前から観光施設が集約する根来地域への観光周遊を促進するとともに、付加価値の高い観光情報の提供、公共交通機関と連携したイベントの実施や、地域住民と観光客の交流の機会創出により、交流人口を拡大し、地域経済の活性化を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要・
主な経費

※経費内訳はR7年度事業費</td><td colspan="4">○建築物整備の内容
【建築物本体工事】 建築工事費　48,279千円
【建築物と不可分な設備工事】電気設備工事費　7,587千円、機械設備工事費　13,104千円
【建築設計・管理】 8,937千円
○設備整備・用地造成等の内容
【案内所舗装外構工事】 案内所舗装外構整備費　15,858千円
○効果促進事業（ソフト事業）の内容
【備品購入品費、消耗品費】 7,563千円</td><td colspan="4">
観光案内所予定地

岩出駅前
 
観光案内所予定地図面</td></tr>
<tr><td>地域の多様な
主体の参画</td><td colspan="4">地域の多様な主体（観光協会、商工会、学校、地域住民など）と連携し、プロジェクトチームを発足し、それぞれの知恵を活かして、地域の可能性を引き出す。
それぞれの目線での、利用者増加のためのイベント企画提案により、事業内容への反映に取り組む。</td><td>KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</td><td colspan="3">①観光案内所利用客数（＋10,000人）
②道の駅における年間売上（＋3,000万円）
③市内観光入込客数（＋60万人）
④観光案内所年間イベント回数（＋3回）
⑤バスの年間運送収入（＋302万4千円）</td></tr>
</table>

事業概要【かつらぎ熱中小学校推進事業】

旧制度（推進）

申請者	和歌山県かつらぎ町	初回採択回	令和４年度第２回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	21,873千円（3,738千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	• 業者間連携を促進し、地域資源を活用した高い競争力を持つ商品を創出する • 高い競争力を持つ商品の販路開拓、プロモーションにより地域に魅力的な仕事を創出する • 郷土教育により郷土愛の醸成を図るとともに、商品にストーリーや付加価値を付与する • 多様な人材が交流し、地域を愛する全ての住民が地域づくりに貢献できる環境を構築する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 首都圏等の企業経営者や大学研究者、地域の有識者を講師として招き、地域の様々な業種の事業者や住民が共に学ぶ場「かつらぎ熱中小学校」の運営に要する費用に対して、補助金を交付する 【主な経費】 かつらぎ熱中小学校の運営費用から収入を除いた金額を補助金として交付する。（事業実施主体：かつらぎ熱中小学校（任意団体）、補助率10/10） ・かつらぎ熱中小学校推進事業補助金：3,738千円	 授業風景 グループワーク	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域産品開発件数（＋49件） ②開発した地域産品の売上額（＋21,070千円） ③地域における起業件数（＋7件） ④熱中小学校会員数（サテライト会員除く）（＋55人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/050/050/010/2024-0312-1800-16.html （効果検証） https://www.town.katsuragi.wakayama.jp/050/050/010/20170401021233.html

事業概要【上富田スポーツセンターを軸としたスポーツツーリズム・スポーツDXソリューションによる地域活性化】

申請者	和歌山県上富田町						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	284,258千円 （11,702千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	• 日本有数のスポーツ合宿施設「上富田スポーツセンター」に最新スポーツDXソリューションを導入し、地域イベントの発信や県内外の施設利用者の利便性向上を進めることにより、スポーツツーリズムへの推進に取組みます。 • AIカメラの映像とともに、電光掲示板の表示内容をスタッツデータ化、合宿・大会参加チームへフィードバックできるという仕組みを構築、多目的スペースで地域住民のウェルネス向上のために、幅広い層の利用を促進します。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ★人が集まるかみとんだ事業（上富田町への新しいひとの流れをつくる） ★元気でいきいきかみとんだ事業（時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する） ✓ AIカメラを導入し大会発信や、施設利用者の付加価値増 ✓モニター型電光掲示板を新設し、表示内容からスタッツデータ化 さらに、野球場モニター前に多目的スペースを新設しイベント開催 ✓地元住民から観光・合宿利用者が交流するをシンボリックな施設へ 【ソフト事業経費】 ・スポーツ大会・イベント・合宿誘致施策費（委託料）1,000千円 ・事業構想・推進費・システム開発等（委託料） 2,000千円 ・AIカメラシステム構築及び設備一式導入費用(委託料) 8,702千円							
地域の多様な主体の参画	指定管理者や民間事業者が施設運営とスポーツDX導入を担い、住民や観光客の交流を促すイベントを推進。また、観光協会や商工団体が連携し、スポーツを通じた地域ブランドの発信や誘客に取り組む。 さらに、利用者等の意見を吸い上げ、定期的な報告会での改善策反映を通じて、事業の質の向上と地域との共創を図る。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①上富田町への観光客数（＋5.9万人） ②上富田スポセンのべ利用者数（＋5.7万人） ③運動習慣のある割合（+8.0%） ④協議会斡旋による宿泊者数（＋2.2千人） ⑤体験ツアー参加者数(＋174人) ⑥満足度アンケート調査(＋0.7ポイント)